

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	社会福祉	講義	4	60	社会保障/障害者福祉/高齢者福祉/地域福祉 医療福祉/ソーシャルワーク等
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸学科・1年	森上 克彦	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>医療の一端を担う職としての認識をして頂く。患者のみではなく医療提供者である私たちも心身の健康を維持するために、社会福祉の各分野とその援助方法、コミュニケーション技法を学習することを本科目の学習目的とする。</p> <p>現代における社会福祉の概念は、「社会的弱者救済」のイメージは大きく変化し、一般市民が対象となっている。少子高齢化の時代背景の下、医療保険制度、介護保険制度、年金保険制度等の社会保障関連費用の国家歳出が大きな割合を占めていることから理解できる。その関連職種として業務をする鍼灸師が社会福祉の制度理解をすることは、安心した暮らしが営まれる地域を築く一助となるであろう。また、コミュニケーション技法をあわせて学習することで、円滑な地域社会貢献の実現への第一歩とする。医療現場で働く者としての最低限度のものではあるが、医療人の仲間入りの第一歩である一時救命処置の知識・技術を習得し、医療人としての心構えを学ぶ機会とする。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>この授業では、現代日本の医療システム・社会福祉の構造を理解することから、私たちの生命を守ることの大切さを学びます。日本赤十字社の救急法の知識技術をも習得していただきます。</p> <p>皆さんにお願いすることとして、社会がどのように動いているのかを肌で感じてほしい。新聞を読み、ニュースをみても良いでしょう。講義だけでは得られない学習を期待します。</p>					
教科書・参考書					
<p>1) 社会保障制度(医療・保健・福祉制度) 2) 日本赤十字社救急員養成課程に準拠した講習を行う。 ①基礎講習+救急員養成講習 ②実技 ③試験(救急員資格取得を目指す) 3) 医療面接(患者理解) ①患者心理・人間の心理とは…心理学観点 ②対人援助技術の習得(模擬診療場面, 討論等) 4) 認知症の理解</p>					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡しして下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。 いったん配布した資料の再配布は、資源節約の観点から原則として行いません。なお、これに伴い配布した資料の控えと欠席者分の未配布資料については、当該年度内に限り職員室で保管いたします。授業中に受け取れなかった場合は担任もしくは授業担当者に授業時間外に相談して下さい。紛失等で再配布を希望する場合は、控えを貸出しいたしますので当日中に自己負担で複製下さい。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日赤講習においては、動きやすい服装とすること。長髪の方は、髪を縛るなどしてまとめることをお願いしたい。 					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	50	定期試験を2回予定しています。			
その他	50	日赤講習の合否判定/受講態度/レポート課題/小テスト等			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		社会福祉とは何かを知ろう オリエンテーション等		/	森上
2		広義の社会福祉、狭義の社会福祉 日本赤十字基礎講習①		/	森上
3		日本の社会福祉の歴史 現代社会の福祉的課題① 日本赤十字基礎講習②		/	森上
4		日本の社会福祉の歴史 現代社会の福祉的課題② 日本赤十字基礎講習③		/	森上
5		社会保険制度の体系 (社会保障制度と社会福祉の展開) 日本赤十字基礎講習④		/	森上
6		社会保障制度(総論) 日本赤十字基礎講習⑤		/	森上
7		社会保険/社会保障制度(各論 i) 日本赤十字基礎講習⑥ (実技おおび学科検定)		/	森上
8		社会保険/社会保障制度(各論 ii) 日本赤十字救急員養成講習①		/	森上
9		社会保険/社会保障制度(各論 iii) 日本赤十字救急員養成講習②		/	森上
10		社会保険/社会保障制度(各論 iv) 日本赤十字救急員養成講習③		/	森上

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		公的扶助制度 (Safety net システム) 日本赤十字救急員養成講習④		/	森上
12		低所得者福祉:低所得者対策 日本赤十字救急員養成講習⑤		/	森上
13		障害者福祉:概念と考え方 日本赤十字社救急員養成講習⑥		/	森上
14		障害者福祉:ノーマライゼーション等 日本赤十字社救急員養成講習⑦		/	森上
15		障害者福祉:手帳制度・障害者総合支援法・ 障害者差別解消法 日本赤十字救急員養成講習⑧		/	森上
16		子ども福祉①:子ども貧困の現実 日本赤十字社救急員養成講習⑨		/	森上
17		子ども福祉②:母子・父子保健の問題 日本赤十字社救急員養成講習⑩		/	森上
18		子ども福祉③:児童虐待/少年犯罪等 日本赤十字救急員養成講習⑪		/	森上
授業外で試験を実施					
19		介護保険制度における鍼灸師・柔道整復師 の役割 日本赤十字社救急員養成講習⑫		/	森上
20		介護保険制度における鍼灸師・柔道整復師 の役割② 日本赤十字社救急員養成講習⑬ (実技おおび学科検定)		/	森上

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		地域包括ケアについて(理解と解釈)		/	森上
22		地域医療・地域包括ケアでの鍼灸師・柔道 整復師の役割		/	森上
23		社会福祉を担う人々との鍼灸師・柔道整復師 の関係/ソーシャルワーク/社会福祉の相談 援助(技法/ケースワーク事例)/コミュニケー ション技法		/	森上
24		相談援助技術/バイステック理論の理解と 解釈		/	森上
25		精神保健福祉(精神障害の理解)		/	森上
26		精神保健福祉:精神医学の理解(DSM- 5/ICD-10から)		/	森上
27		医療社会福祉施設の理解(病院・医療施設 の種類/介護施設の種類等)		/	森上
28		医療社会福祉施設の理解②(医療施設・病 院の種類/福祉施設等の種類等)		/	森上
29		医療面接技術(介護施設の現場を通して)		/	森上
30		認知症の理解/その対応(認知症オレンジ プラン)		/	森上
授業外で試験を実施					